



環境工学講座

准教授

たてだ まさふみ
立田真文

工学博士

(大阪大学・平10)

■経歴

大阪工業大学夜間部応用科学科卒(昭63.3) / 産業廃棄物処理業幸徳立田商店(昭59.4～平2.8) / 米国ドレクセル大学大学院環境工学科修士課程修了(平5.12) / 米国ドレクセル大学大学院環境工学科博士課程中退(平6.9) / 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士後期課程修了(平10.3) / 志村化工株式会社事業開発室(平10.4～11.3) / 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻環境システム講座助手(平11.4～14.3) / 富山県立大学短期大学部助教授(平14.4～19.3) / 同准教授(平19.4～21.3) 学校教育法改正による職名変更 / 富山県立大学工学部准教授(平21.4～) / 富山県立大学工学部研究科准教授(平25.4～)

担当科目	資源循環工学 / 環境物理化学および演習 / 資源循環工学実習 / トピックゼミⅡ / 専門ゼミ / プレゼンテーション演習 / 環境工学実験 / 卒業研究 / 廃棄物資源学 (大学院)
専門分野	循環資源機能・安全工学 / 循環資源応用工学 / 廃棄物発生抑制学 / 環境教育・啓蒙 (環境創作落語、英語落語)
論文・報告	「Establishment of a Recovery Process of Heavy Metals from Municipal Solid Waste Incineration Ash (都市ごみ焼却灰から重金属回収プロセスの構築に関する研究)」(学位論文) Masafumi Tateda, and Ryoko Sekifuji (2017), Survey on the Intake of Food Additives by College Students Over a Week, European Journal of Nutrition & Food Safety, 14 (1) : 1-7. Ryoko Sekifuji, Le Van Chieu, Masafumi Tateda (2017), Case Study of Fire Flame Resistance Improvement of a Plywood Board Coated with Paint Containing Added Rice Husk Amorphous Silica, Journal of Scientific Research and Reports, 15 (5) , 1-9.
著書	「ぐるぐるくるりんまなぶくん (共著)」(電気書院、2009) 「ごみゼロ社会は実現できるか (共著)」(コロナ社、2006) 「ロマンティック廃棄物 (単著)」(電気書院、2006) 「技術予測レポート2023:シェール燃料時代に対応する地域分散型エネルギー - もみ殻の有効性と廃漁網の可能性 -」(日本能率協会総合研究所、2013) 立田真文 (2017) 第7章4 廃漁網の資源化の提案 - 鉛に注目して、- 材料の再資源化技術事典、549-554、産業技術サービスセンターほか
所属学会	廃棄物資源循環学会 / 日本水処理生物学会 / 全国都市清掃会議 / 日本珪素医科学学会
受賞歴	環境技術研究協会論文賞 (2003)

■現在の研究課題

- 1) 下水汚泥の削減と資源回収
- 2) EV車の製作
- 3) もみ殻の完全循環
- 4) 採血管の適正処理に関する研究
- 5) e-sketch(3DCG) によるイメージの外在化
- 6) 廃漁網のリサイクル
- 7) 廃棄物産業の社会的地位向上に関する研究
- 8) シリカのナノ粒子

■共同研究キーワード

循環資源 / 機能、安全 / 応用 / 発生抑制 / 啓蒙 / バイオマス / 社会的地位向上 / ジオポリマーコンクリート / ナノ粒子